

# ハッピーニューイヤ- (ear) の開発について; 2016年8月

三世代同居のご家庭、連休中を一緒に過ごす三世代、高齢のご夫婦のご家庭、極めて日常的な風景の中に潜在する 音質の問題 があります。

テレビの音質の主役は明瞭性にあります。音楽番組もありますが、番組の主役は ニュース、天気予報、トーク、ドラマ、映画、ほとんどがスピーチやトークのリスニングです。

加齢に伴う聴力の低下は程度の違いはあっても、誰もこの事実からは逃れることはできません。

おじいちゃんやおばあちゃん と お孫さんが テレビの前に座っている。

ケース1. 音量が大きい、お孫さんがじいちゃんばあちゃんに気遣って、がまんしている。

ケース2. じいちゃんばあちゃんは聴き取りにくい、お孫さんに気遣って音量を大きくしない。

ケース3. 音量が {大き過ぎる、小さ過ぎる} で、常にご夫婦のどちらかがストレスを感じている。

健聴者難聴者の双方が満足できる 音質アルゴリズム (Happy New Ear) と その操作方法を開発しました。モニターのご家庭では、好評を戴いております。

段階	年	経緯
第1段階	2013	スピーカの指向性に焦点を絞った、ワーキングサンプルで試験を始める
第2段階	2015	スピーカの指向性に重点を絞らない、ワーキングサンプルで試験
第3段階	2016	音質選択の操作性を重点に、コンシューマ商品に使える機能として仕上げる